平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド　　上場取引所　東 名
コード番号 5331　URL http://www.noritake.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小倉 忠
問合せ先責任者　(役職名) 取締役 執行役員 財務部長　(氏名) 加藤 博　TEL 052-561-7116

四半期報告書提出予定日　平成26年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	64,450	△5.5	△40	―	822	△33.6	669	△70.2
25年3月期第3四半期	68,180	△11.8	461	△75.9	1,239	△53.2	2,249	△50.9

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　7,216百万円　(226.5%)　25年3月期第3四半期　2,210百万円　(△26.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	4.51	―
25年3月期第3四半期	15.14	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	122,079	71,338	58.0	488.13
25年3月期	114,418	66,579	57.7	441.05

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　70,748百万円　25年3月期　66,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	4.00	―	4.00	8.00
26年3月期	―	3.00	―		
26年3月期(予想)				3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	△1.4	400	520.9	1,300	13.6	800	△51.3	5.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
②①以外の会計方針の変更	: 有
③ 会計上の見積りの変更	: 有
④ 修正再表示	: 無

注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。
詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	158,428,497 株	25年3月期	158,428,497 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	13,492,568 株	25年3月期	8,769,552 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	148,586,128 株	25年3月期3Q	148,628,697 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間の売上高は644億50百万円（前年同期比5.5％減少）、40百万円の営業損失、経常利益は８億22百万円（前年同期比33.6％減少）、四半期純利益は６億69百万円（前年同期比70.2％減少）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

（工業機材）

国内市場では、主要顧客である自動車関連、鉄鋼、ベアリング業界の生産が回復し始めたものの、電子半導体業界の回復が遅れているうえ、ダイヤモンドワイヤーの販売も伸び悩んだことから、売上げは減少しました。海外市場では、東南アジアにおけるＨＤＤ市場の落ち込みや、欧州の景気低迷の影響を受けたものの、米州において自動車関連が堅調に推移したこと、中国においては、自動車関連、鉄鋼の生産が拡大したことに加え、円安の影響を受け、売上げは増加しました。その結果、工業機材事業の売上高は272億74百万円（前年同期比0.5％減少）、営業利益は５億16百万円（前年同期比159.8％増加）となりました。

（セラミック・マテリアル）

電子ペーストは、太陽光発電用とセラミック・コンデンサー用の出荷量減少のため、売上げは減少しました。セラミック製品は、海外向けの石膏及び航空機用途のセラミックコアが好調なうえ、厚膜回路基板も車載用が伸張したことにより受注回復傾向にありますが、担体は北米向けの売上げが減少しました。蛍光表示管は、アジア・国内向けの受注増と為替の影響で伸張し、売上げは増加しました。共立マテリアル株式会社は、セラミック原料は堅調に推移したものの、電子部材が振るわず、売上げは微減となりました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は218億９百万円（前年同期比7.3％減少）、営業利益は３億０百万円（前年同期比50.9％減少）となりました。

（エンジニアリング）

主力の乾燥炉及び焼成炉は、スマートフォン用フィルム・電子部品向けにも注力しましたが、リチウムイオン電池業界の市況が低迷しており、設備投資計画の延期や抑制の影響を受け、売上げは大きく減少しました。濾過装置は、ベアリング業界などにおける設備投資が低迷したことにより、売上げは大きく減少しました。混合・攪拌装置も低調に推移したため売上げは減少しました。超硬丸鋸切断機はアジア向けに拡販に努めた結果、売上げは前年並みとなりました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は82億96百万円（前年同期比25.4％減少）、６億26百万円の営業損失となりました。

（食器）

国内市場では、百貨店向けは依然として厳しい状況が続いているものの、エアライン向けが好調のうえ、ホテル・レストラン向けも堅調に推移したほか、前年度秋に開店したノリタケ銀座店が拡販に寄与したことから、売上げは微増となりました。海外市場では、米国は堅調に推移し、アジアのエアライン向けの伸張と主力商品「シェール ブラン」の欧州での投入効果に加え、円安の影響もあり、売上げは増加しました。その結果、食器事業の売上高は70億70百万円（前年同期比15.4％増加）、２億30百万円の営業損失となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が減少したものの、有形固定資産が増加したことに加え、保有株式の株価上昇に伴い投資有価証券の時価総額が増加したことから、前連結会計年度末に比べ76億60百万円増加し、1,220億79百万円となりました。

負債は、流動負債の引当金が減少したものの、その他有価証券評価差額金の増加により固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が増加したことから、前連結会計年度末に比べ29億１百万円増加し、507億41百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得により減少したものの、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ47億58百万円増加し、713億38百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の見通しにつきましては、円安に伴うプラス効果の一方で、顧客の設備投資意欲は依然として低調に推移しており、先行きは不透明であります。当社グループとしましては、価格競争力のある新技術・新製品の開発や海外市場の開拓と現地生産による採算性の向上等の施策を着実に実行し、業績の回復と成長性の確保に努めてまいります。

なお、連結業績予想は平成25年９月27日発表の見通しを変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却の方法について主として定率法（ただし、平成10年４月１日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、第１四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。この変更は、当社グループが経営インフラの整備を図るために進めてきたグループ会社の統廃合が完了し、その次段階である効率的な生産体制確立のための本社工場の移転を機に、当社グループの有形固定資産の使用状況を検討した結果、使用期間にわたって費用を均等に負担させる定額法が当社グループの経済的実態をより適切に反映することができると判断され、また、当社グループは海外生産拠点の拡充を計画しており、定額法を採用する在外連結子会社との会計処理の統一を図り経営管理の精度の向上にも資することから行ったものであります。

これにより、当第３四半期連結累計期間の減価償却費が879百万円減少したことから、営業損失は772百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は796百万円それぞれ増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,099	8,786
受取手形及び売掛金	26,886	25,899
商品及び製品	5,868	6,254
仕掛品	3,830	4,151
原材料及び貯蔵品	3,640	3,606
その他	1,812	1,730
貸倒引当金	△33	△43
流動資産合計	53,104	50,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,876	13,562
その他（純額）	22,063	23,166
有形固定資産合計	33,940	36,728
無形固定資産	480	413
投資その他の資産		
投資有価証券	23,738	30,334
その他	3,277	4,336
貸倒引当金	△122	△117
投資その他の資産合計	26,893	34,552
固定資産合計	61,314	71,694
資産合計	114,418	122,079
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,337	12,676
短期借入金	1,588	5,595
1年内返済予定の長期借入金	5,100	6,277
未払法人税等	443	372
引当金	1,377	396
設備関係支払手形	1,551	1,132
その他	5,093	5,023
流動負債合計	27,491	31,475
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	5,297	1,139
退職給付引当金	1,029	1,031
その他の引当金	804	808
その他	3,214	6,286
固定負債合計	20,347	19,266
負債合計	47,839	50,741

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,832	18,832
利益剰余金	34,210	33,666
自己株式	△2,396	△3,639
株主資本合計	66,279	64,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,736	10,043
為替換算調整勘定	△5,009	△3,788
その他の包括利益累計額合計	△272	6,255
少数株主持分	572	589
純資産合計	66,579	71,338
負債純資産合計	114,418	122,079

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	68,180	64,450
売上原価	51,580	48,379
売上総利益	16,600	16,071
販売費及び一般管理費		
販売費	11,507	11,471
一般管理費	4,631	4,639
販売費及び一般管理費合計	16,139	16,111
営業利益又は営業損失（△）	461	△40
営業外収益		
受取利息	34	36
受取配当金	334	387
受取賃貸料	224	298
為替差益	39	200
持分法による投資利益	210	95
その他	170	76
営業外収益合計	1,014	1,094
営業外費用		
支払利息	112	117
固定資産賃貸費用	69	91
その他	54	21
営業外費用合計	236	231
経常利益	1,239	822
特別利益		
固定資産売却益	0	20
投資有価証券売却益	―	750
負ののれん発生益	4,020	―
特別利益合計	4,020	771
特別損失		
固定資産処分損	668	49
減損損失	1,359	―
投資有価証券評価損	57	1
関係会社整理損	169	―
特別退職金	―	40
特別損失合計	2,254	90
税金等調整前四半期純利益	3,005	1,503
法人税、住民税及び事業税	546	669
法人税等調整額	104	206
法人税等合計	650	875
少数株主損益調整前四半期純利益	2,354	627
少数株主利益又は少数株主損失（△）	104	△41
四半期純利益	2,249	669

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,354	627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100	5,279
為替換算調整勘定	△52	1,196
持分法適用会社に対する持分相当額	8	111
その他の包括利益合計	△144	6,588
四半期包括利益	2,210	7,216
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,136	7,198
少数株主に係る四半期包括利益	73	18

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

平成25年９月27日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、市場買付の方法により平成25年12月31日までに当社普通株式を4,696千株取得し、その結果、自己株式が1,235百万円増加しております。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	27,407	23,522	11,123	6,127	68,180
セグメント利益又はセグメント損失（△）	198	612	△8	△341	461

（注）　報告セグメントの利益は、営業利益であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：百万円）

	報告セグメント					全社・消去	合　計
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計		
減損損失	296	59	22	－	378	981	1,359

（注）　本社工場の三好事業所等への移転及び営業拠点の移転に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上いたしました。

（重要な負ののれん発生益）

「セラミック・マテリアル」セグメントにおいて、株式交換に伴い負ののれん発生益を3,951百万円計上しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	27,274	21,809	8,296	7,070	64,450
セグメント利益又はセグメント損失（△）	516	300	△626	△230	△40

（注）　報告セグメントの利益は、営業利益であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。